



たいさんぼく

HP <http://schit.net/tama/esminamitsurumaki/> E-mail daihyo-minamitrumaki-sho@city.tama.ed.jp

過程をほめて励ましていく

校長 森 信行

9月16日、国立競技場で世界陸上を観戦する機会に恵まれました。出場アスリートたちのしなやか且つ、力強い走りや跳躍、投擲に感動しつつも、この日に行なわれた男子400m走準決勝で2位に入り、決勝進出を確定させた中島佑氣ジョセフ選手のレースには、とても心が熱くなりました。

1991年大会の高野進選手以来の決勝進出は、日本の陸上界にとってとても大きな出来事だったようですが、それ以上に目を見張ったのは、常に世界のトップを走り続けているアスリートたちのパフォーマンスそのものです。

同日に行なわれた女子1500m走の決勝では、ケニアのフェイス・キピエゴン選手が圧倒的な強さで優勝しました。キピエゴン選手は五輪3連覇に続き、世界陸上も3連覇（優勝は4回目）を達成し、名実ともに陸上界の女王として君臨しています。

同じく行なわれた男子ハンマー投げで優勝したカナダのイーサン・カツバーグ選手は2023年のオレゴン大会、パリ五輪と合わせて世界大会の3連覇を達成しています。

彼らをはじめ、継続して結果を出し続けているアスリートたちがインタビュー等で必ず語るのは、「過程」の重要さです。質の高い挑戦を続けるために、肉体の鍛錬だけではなく、支えてくれる人たちとの連帯感や感謝の気持ち、どんなときも自分を見失わない自己を制御する能力などを常に評価して、次のステップへと進んでいくことだそうです。

話は変わりますが、後期の始業式で子どもたちに、「過程」を大切にしていこう、との話をしました。「過程」という言葉を、よい結果を目指す期間に行なう努力や工夫と言いました。学校行事ならば、その当日が終了するまでにどんな工夫や努力をするのか、教科の学習ならば、単元の終了までにどんな考えをもち、どんな工夫をして学習を深めるのか。そしてそれらに共通するのは、結果よりも、（よい結果を目指し）その途中で行った自分自身の取組が大切だと。

どんな頑張りをすればよいのか、育成すべき力を9つの言葉に表しました。

【目標の達成】①挑戦 ②工夫 ③ねばり強さ

【他者との協働】①協力（なかよく） ②コミュニケーション ③思いやり

【情動の制御】①コントロール ②責任 ③ふりかえり

これらは学力と違い、数値には表しにくい能力です。但し、前段でも申し上げた通り、順位や勝敗、点数で一喜一憂せずに、今後も必要な力として子どもたち一人一人が自己的成長を実感できるものとして、この9つの力を意識させていこうと思っています。

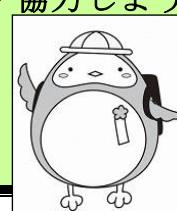
私は本校の入学式で、「子どもたちの頑張った過程をほめて励ましてあげてください」と列席する保護者の皆さんに毎年呼びかけています。その自分が呼びかけたことを更に具体化し、子どもたちが様々な活動についてやり甲斐をもって臨めるようにしていきたいと思います。

今年度の重点目標

- 10月の生活指導目標
- 10月の安全指導目標
- 10月の保健指導目標
- 10月の給食指導目標

自分が大切 みんなが大切

- ・あいさつをしよう
- ・丁寧な言葉遣いをしよう
- ・きまりを守ろう
- ・協力しよう
- 横断歩道は左右をよく見てわたろう
- 目を大切にしよう
- 好き嫌いをしないで、残さずたべよう



10・11月の行事予定

1	水	B	モニングプラス12年 安全指導
2	木	読	モニングプラス34年 運動会時程始
3	金	B	モニングプラス56年 運動会係①
4	土		芝生管理作業4-1/3-4
5	日		
6	月	朝会	しばちゅんたタム15年
7	火	運動会 音楽集会	避難訓練 卒業アルバム個人写真撮影6年 スクールカウンセラー勤務
8	水	B	4校時まで 6年3組のみ5校時
9	木	運動会集会	しばちゅんたタム36年
10	金	B	運動会係②
11	土		芝生管理作業 ポーリグ 5-3/3-3
12	日		
13	月		スポーツの日
14	火	運動会集会	しばちゅんたタム24年 全校練習 カークルカウチ勤務
15	水	B	4校時まで 全校練習(予備日)
16	木	読	
17	金	B	運動会前日準備リハーサル わかば面接終
18	土		運動会 芝生管理作業(有志)
19	日		運動会予備日①
20	月		振替休業日
21	火	読	運動会予備日② ALT スクールカウンセラー勤務
22	水	B	モニングプラス12年 鶴牧中学校合唱見学5年
23	木	読	モニングプラス34年 オバーシート 笑顔と学びの体験「ドローン体験」5年
24	金	B	モニングプラス56年 読書旬間終 オバーシート
25	土		
26	日		
27	月	放送朝会	わかば指導なし
28	火	読	4校時まで 就学時健診
29	水	B	
30	木	読	社会科見学4年
31	金	B	委員会⑥代表委員会
1	土		
2	日		
3	月		文化の日
4	火	読	4校時まで 希望者面談 スクールカウンセラー勤務
5	水	B	4校時まで モニングプラス12年 安全指導 希望者面談
6	木	集会	モニングプラス34年 脊柱側弯5年 遠足3年
7	金	B	モニングプラス56年 クラブ活動⑥

授業の「ユニバーサルデザイン」

研究主任

身の回りの物には、誰もが使いやすく工夫された物がたくさんあります。例えば、シャンプーとリンスのボトルは、ボトルの側面の突起の有無によって、目が見えにくい状況でも識別できるようになっています。

今年度、本校では、ユニバーサルデザインの視点を授業に取り入れ、誰もが新たな発見や気付きが生まれるきっかけを提供できるように授業実践に取り組んでいます。そのために全教員が目の前の子どもたちの実態に合った方法を探り、よりよい学びを実現していきたいと思っています。

また本校の研究は、学年や学級、指導する教員によって差異や隔たりがない一貫性のある取組として捉え、子どもたちの力を伸ばしていきたいと考えています。

特別支援教室「わかば」

教室主任

「わかば教室ってどんなところ？」

子どもたちからこんな質問を受けることがあります。奥の深い質問で、一言で答えるのは難しく、その都度思いを巡らせてています。

学習内容は、一人一人に応じて多種多様であることがその一因です。わかば教室には、下記の2つのカリキュラムがあります。

1. 個別学習

担当教員と1対1又は1対2で個別の課題を行います。

2. かがやき（コミュニケーション）

3～6人ほどの小集団で、他者とのかかわり方を実践的に学びます。

このような活動を通して「できること」「分かること」を増やしていく。自分に合った課題への取り組み方、友達とのかかわり方が分かるようになることで、「自分はこれで大丈夫！」と児童自ら見通しをもって過ごせるようになる。そんな力を蓄えるところがわかば教室であると私たちは考えています。

子どもたちの笑顔が増えるよう、お気付きの点、ご相談ごと等ございましたら、いつでもお声掛けください。

予定下校時刻	A(月・火・木)	B(水・金・土)	授業時間	月	火	水	木	金
4時間授業給食なし	-	12:15		1年	5	5	5	4
4時間授業給食あり	13:20	13:05		2年	5	5	5	5
5時間授業	14:35	14:05		3年	5	6	5	5
6時間授業	15:20	14:55		4年	6	6	5	6
7時間授業	-	15:40		5・6年	6	6	5	6